

令和 6 年度防衛大学校入校式
来賓代表祝辞

本日は吉田統合幕僚長の祝辞をお預かりしてきましたので、代読をさせていただきます。

防衛大学校本科第 7 2 期学生、理工学研究科前期課程第 6 3 期、後期課程第 2 4 期学生及び総合安全保障研究科前期課程第 2 8 期・後期課程第 1 6 期の学生の諸君、また、遠く祖国を離れて来日された留学生の諸君、入校誠におめでとう。

諸君が晴れて入校の栄冠を勝ち取るとともに、本科学生の諸君においては幹部自衛官を目指す道の入口に立たれたことに、心から敬意を表します。

さて、現在、我々は歴史の大転換点に立っています。

一昨年 2 月に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵略により、約 4 0 年続いた米ソ冷戦の終結後、約 3 0 年続いた「ポスト冷戦」という過渡期は完全に終焉を迎え、さらに昨年 1 0 月にはガザ地区でハマスとイスラエルの軍事衝突が起きました。そして、現在の国際社会は、力による一方的な現状変更を許容せず、法の支配に基づく国際秩序を維持できるか否かの分水嶺にあると認識をしています。

防衛大学校を卒業した諸君の先輩方は、米ソ冷戦からポスト冷戦に至る約 7 0 年間「刀を抜かないために、必死で刀を研いで」きました。すなわち、抑止力を磨き上げ、我が国に対する武力侵攻を未然に防いだのです。

中・長期的に見て、国際安全保障の焦点となるのがインド太平洋地域であり、我が国周辺地域はその最前線です。我々からバトンを受け継ぐ諸君の世代は、抑止力のさらなる強化により、ウクライナやガザ地区と同様の深刻な事態を、これから四半世紀抑止していく責任を負うことになります。現代の世界情勢は「VUCA（ブーカ）」、すなわち

「Volatility(変動性)」、「Uncertainty（不確実性）」、「Complexity(複雑性)」、「Ambiguity(曖昧性)」と言われています。

こうした時代に必要なのは、将来予測が困難な時代においても、先を見通した「戦略」と、周囲を牽引していく「リーダーシップ」の二つで

す。諸君は防衛大学校を卒業後、将来的に「戦略的リーダー」に成長していくことが期待されているのです。

私は、防衛大学校は「戦略的リーダーシップ」の素地を学ぶ我が国唯一の学校だと思っています。

このため、諸君には防衛大学校時代に「MVP（エム・ブイ・ピー）」すなわち「Mission(使命感)」、「Vision（構想力）」、「Passion(情熱)」という三つのリーダーシップの要素を磨いてもらいたいと思います。

第1に「Mission（使命感）」について。

在学間、諸君は「国を守る」とは、いったいどういう事なのだろうか、という事を是非とも掘り下げて考えてみてもらいたいと思います。そして、将来、自分が「国を守る」ために、どういう分野で、どのように貢献していきたいか、考えてみてください。

第2に「Vision(構想力)」について。

自分自身で経験できることは限られており、それを補うことができるのは読書と人の話を聞くことです。この際、防衛大学校の中で、様々な人と議論するのに加えて、防衛大学校の外の人とも、積極的に「他流試合」をして、また、身近にいる留学生とも是非積極的に懇談をしてください。そこには「ミニ国際社会」があるのです。

第3に「Passion（情熱）」について。

リーダーには圧倒的な熱量と行動力が必要になります。その基盤となるのが、同期や先輩・後輩とのコミュニケーション能力です。学生舎生活や校友会活動を通じて、大いに「情熱」を燃やしてください。

このように、防衛大学校は「戦略的リーダーシップ」の素地を学べる、我が国において「オンリーワン」の学校ですが、設立当初から、世界的に珍しい陸・海・空統合の士官学校であり、その面でも「オンリーワン」の存在です。4年間防衛大学校で築いた同期の絆が、将来の陸・海・空自衛隊の統合運用の基盤にもなります。

そして留学生の諸君、諸君は一人一人が貴国にとっての「宝」であり、日本にとっての「かけがえのない友人」であります。これからの4年間、日本の学生諸君とともに防衛大学校生活に全力で取り組み、真の友情を築き、相互理解の促進に努めてもらいたいと思います。

次に、理工学及び総合安全保障研究科学生の諸君に申し上げます。

諸君がこれから学ぶ、科学技術及び安全保障に関する高度かつ専門的な知識・技能は国の防衛を全うするために必要不可欠のものです。科学技術は日々進化し、安全保障環境も一層厳しさを増しており、自衛隊はこの変化に遅れをとることは許されません。

諸君は、防衛力の抜本的強化に資するべく、研究能力の向上に努め、高度の理論と応用についての知識を涵養してもらいたいと思います。

結びに、ご家族の皆様方に対しまして、ご子息・ご息女が今日のよき日を迎えられたことに謹んでお慶びの意を表しますとともに、防衛大学の今後益々の発展と、将来の国防を担う学生諸君が、今日の澁漈とした初心を忘れず、自ら主体的に充実した学生生活を作りだしていくことを心から祈念しまして、お祝いの言葉と致します。

令和6年4月5日

統合幕僚長 陸将 吉田 圭秀

(代読 統合幕僚監部防衛計画部長 陸将補 南川 信隆)